

当科で 2013 年以降に、当院脳神経外科でシャント手術を受けた方へ

人を対象として行われる医学研究を臨床研究と言います。本来、臨床研究では、対象となる患者さんに直接、研究の意義などを説明し、同意を得なければなりません。しかし、診療情報など、患者さんに危険が生じないことが明らかな研究では、直接の同意を得ないことがあります。この場合は、研究の内容をウェブサイトで公開し、ご自身のデータ提供を望まない患者さんが拒否できる機会を設けるよう、国によって定められています。

当科では、2013 年以降にシャント手術を受けた方を対象に、診療情報を用いて、以下の臨床研究を行っております。この研究による患者さんへの負担は一切ございません。以下の「対象となる患者様」のうち、ご自身の診療情報が研究に使用されることに同意されない方は、担当者までお知らせください。

研究課題名（研究番号）	当院脳外科における 2013 年以降のシャント手術を行った患者の後方視的検討（第 217 号）
当院の研究責任者	脳神経外科 副院長 伏見 進
共同研究の場合の研究責任者および所属	
本研究の目的	近年、特発性及び続発性水頭症に対し、シャント術を施行する際に、以前は経験的に VP シャント術を選択されておりましたが、LP シャント術の有効性及び安全性が実証され、LP シャント術の有効性に関しても見直されてきております。当院では交通性水頭症に対し、LP シャント術を中心とした加療を行ってきており、当院における LP シャント術が VP シャント術と比較し、安全に施行できているのかを検討することを目的に研究を行っています。
研究対象となる患者様および対象期間	当院脳外科でシャント手術を行った患者。
利用する情報・試料	研究は、対象となる患者さんのカルテから必要な情報を収集し、統計学的な解析を行う方法で行います。これらの情報収集および解析にご協力をお願いいたします。追加の検査や問診などはございません。
他機関への情報・試料の提供の有無	無し
個人情報の取り扱い	①対象となられる方の個人情報は、研究担当者のみが研究終了まで管理し、研究に必要な場合にのみ参照します。研究が終了した時点で完全に破棄・抹消します。 ②診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか分からない形で使用します。
利益相反（研究資金提供などの利害関係のある企業など）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
問い合わせ先	電話：0182-32-5121（代表） 担当者（所属）：伏見 進（脳神経外科）
備考	